

キャラクター名

海霧 流水音 (うみぎり るみね) -あむ るみね→ねむみある

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	科学者
	ソラリス					
オプションル			年齢	22	性別	女
覚醒	感染	衝動	恐怖		初期侵食率	31 %
出自	資産家	経験	UGNへの畏怖		邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	0	0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		R C	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
コネ：UGN幹部		ロイス			
コネ：研究者		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ タス
コネ：情報屋		奇妙な隣人	P	N	消費
コネ：手配師		UGN幹部 (色：GR 達成値+15)	P 親近感	N 不信任	
コネ：要人への貸し		コードウェル博士 (色：BK 達成値-20)	P 尊敬	N 脅威	
情報収集チーム			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	14	残り財産P:	7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
オリジン：サイバー	3	2	マイナー	至近	自身	自動	RB (奇人)	
効果：シーン中、社会の達成値+Lv*2								
アンシーントーカー	2	1	メジャー	至近	自身	情報：	RB(奇人)	
効果：判定ダイス+LV個								
戦乙女の導き	3	2	メジャー	至近	単体	RC	-	
効果：メジャーダイス+LV 攻撃力+5								
ポイズンフォッグ	2	2	メジャー	至近	範囲 (選択)	シンドローム	-	
効果：対象範囲 (選択) に LV回								
狂戦士	5	5	メジャー	視界	単体	RC	80↑	
効果：C値-1 ダイスLV*2								
力の霊水	2	4	オート	視界	単体	自動	80↑	
効果：ダメージ+LVD 1R1回								
オーバードーズ	1	4	メジャー	-	-	-	100↑	
効果：組み合わせたエフェクトLV+2 LV回								
麗しの容貌	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：健康維持、容貌保持								
隠し味	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果：味が変わる								
声なき声	★	-	メジャー	視界	シーン (選択)	自動	-	
効果：思念を届ける								
虹の香り	★	-	メジャー	視界	シーン	自動	-	
効果：好きな匂いを充満させる								
効果：								
効果：								

いつからだろう。夢の世界に焦がれるようになったのは。
いつからだろう。夢の世界から離れなくなかったのは。
目を開ければ幸福だけが詰まった世界は泡のように掻き消え、どこまでも薄情な現実が待っている。
恵まれていない、というわけではなかった。
むしろ、生まれを考えれば大抵の人よりは恵まれた環境にあっただろう。
かといって、それ故に幸福であったかと問われれば――否である。
幸福とは、他人との比較によって測り得るものではない。
幸福だと感じる基準は人それぞれで、結局恵まれた環境であっても私の基準には満たなかったというだけの話だ。

「……目を覚ませ」

ふと聞こえた、そんな声。
その声は私が良く知っているもので、けれど全くを知らないもの。
ある日突然現れて、私をこんな世界へと招き入れた、そんな張本人。

「聞こえてるんだろ。目を覚ませってば」

再度かけられた声に、私は内心ため息をつく。
私をこんな世界に招いておいて、お構いなしに私の幸福を破壊しようとする。
悪い奴ではないと知っているものの、こういった時折見せる暴虐さには常々悩まされて――

「――あー、ったく！ 御託はいいからさっさと起きろってんだ！」